学校番号	214

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	現代の国語「新　現代の国語」（桐原書店）						
副教材等	上級入試漢字・語彙　（桐原書店） 完成 日本文学史ノート 三訂増補版　（啓隆社） 新訂版 最新国語便覧　（浜島書店） プログレス現代文総演習 基本編　（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「高校国語」を学ぶ第一歩として、「感覚」ではなく「論理」で文章を読解する力をつけてください。「文章構成や文構造を意識して論理的理解を深める」高校国語に慣れていきましょう。
・自ら学び思考するための「読む力」、他者とコミュニケーションするための「話す・聞く力」、論理的に他者に考えを伝えるための「書く力」を身につけていきます。
・上記の力を習得するため、失敗を恐れずに、主体的に自分で考え、話し、書きましょう。正解の提示を待つのではなく、自ら積極的に取り組み、試行錯誤する態度を評価します。きれいな板書ではなく、メモや、自分の考えたことの走り書きでノートが埋め尽くされるのが理想的です。
・上記の力を習得するため、提出物を課します。「ただ提出したという事実」ではなく、「学習のプロセスとして有効に提出物を使えたかどうか」を評価します。「力をつける」という目的を忘れずに取り組んでください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の 各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	・随想の基本的な読み方を習得する。 ・随想を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 ［教材］「わからないぐらいがちょうどいい」「読書は必要か」「言葉の力」	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[話]：自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している c： 教材から読み取った内容を実社会に照らし合わせて自らの問題として提起し、論じることで理解を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリントなど
	・評論の基本的な読み方を習得する。 ・対比構造を読み取りながら、筆者の主張を的確に捉える。 ［教材］ 「ほどほどのデザイン」 評論解析 A	a：評論の基本的な読み解きかたを習得し、論理構造を把握した右手、筆者の考えの核心を理解している。 b[読]：書かれた文章の特徴や、構成、論理の展開などについて叙述を基に捉え、内容について批評的な視点で読んでいる。 b[書]：比較や具体例を使い、自分の考えをかけている。 c：比較や具体例を通じて理解した筆者の見解や論理の展開を踏まえ、自らの考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリントなど
二学期	・物事を観察して矛盾を発見し、問いのかたちにして考える。 ・教材をとおして、現代の科学や社会の在り方について自分の考えを深める。 ［教材］ 「サイボーグとクローン人間」 「人間拡張の現在」 「問いの立て方とオリジナリティ」	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章や図表などに含まれている情報を的確に把握し、書き手の意図や思考の強調点を読み取りながら、文章を対象化して吟味したり検討したりしながら批判的に読んでいる。 b[書]：自分が伝えたい考えや事柄を図表を用いながら、読み手に伝わるように書いている。 b[話]：目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な視点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c：自分が抱いた疑問や矛盾について具体的な問いを立て、粘り強く問いに向き合うことで、自らの考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリントなど
	・論理の組み立て方を身につけて、考えをわかりやすく伝える。 ［教材］ 評論解析 B 実用的な文章3	a:比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使用している/主張や論拠などの情報と情報との関係性を理解した上で、主張の妥当性を明確に示すことができている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリントなど

		b[書]:自分が伝えたい考えや事柄を過不足なく説明し、適切な根拠が示すとともに、内容にふさわしい文章の種類や、文体や語句を的確に選択し、かつ読み手に配慮して表現している。 c:各教材のさまざまな論理展開を確認して論理の組み立て方を積極的に身につけ、自分の考えをわかりやすく伝えようとしている			
三学期	・他者との関係や社会とのつながりを通して、自分の在り方を考える。 ［教材］ 遅れてきた「私」 レオーノフの帽子屋 I was born	a:注意を要する表現を正確に理解している。 b[読]:抽象度の高い文章においても論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉えている。また、社会と自分との関係について考えを深めている。 b[書]:詩と文章を踏まえて自分の内省的文章が書けている。 c:社会や他者とのつながりを意識することで自分自身と向き合い、自分のあり方について考えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	ワークシート レポート 授業プリントなど
	・話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。 ・他教材と読み比べ、両者の主要な見解の共通点をまとめる。 [教材] 評論解析 C	a:文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している/目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 b[書]:他教材と読み比べたうえで、両者の主要な見解の共通点を比較した文章が書けている。 c:叙述を基に内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要点を把握することができている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	ワークシート レポート 授業プリントなど

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間